



創造設計第二 2008

インテリジェントルール2008

創造設計第二とは

- 4～5名でチームを組み
- これまで学んだ知識を動員し
- 自律移動機械の製作を通して
 - プロジェクト運営
 - アルゴリズム作成
 - フィードバックとキャリブレーション
 - 他者に対する説明・アピール
- を学ぶ実習型講義です。

スタッフ紹介(教員)

- アドバイザー: 山北昌毅 准教授
- 主担当: 倉林大輔 准教授 (2548)
- 技術班: 比田井洋史 助教 (2160)
- 資材班: 畑中健志 助教 (3316)
- 広報班: 加嶋健司 助教 (2646)

スタッフ紹介 (TA)

■ 森山拓郎

■ 春山弘貴

■ 岩渕教郎

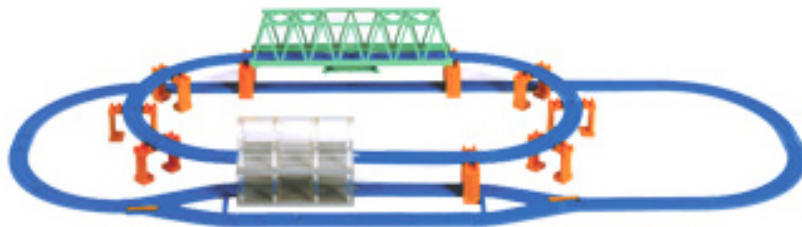
■ 草野正巳

■ 松本 浩

■ 杉浦元將

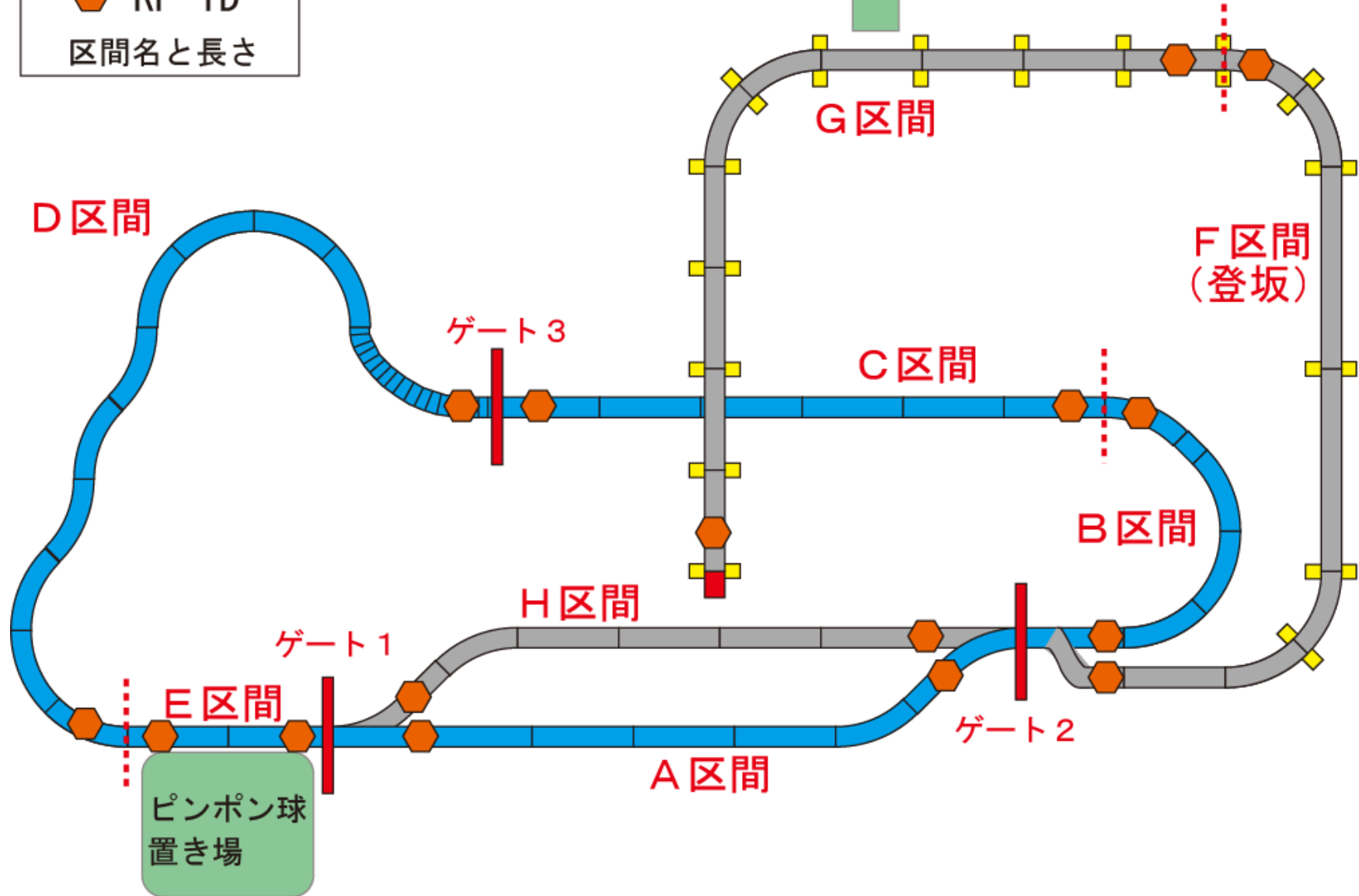
課題概要

- プラレール線路で試技課題を設定
- 速く、正確に、高効率で作業を行うマシン(列車?)を製作
- マイコン・バッテリー・センサを搭載した自律システムを製作



RF-ID
区間名と長さ

ピンポン球
供給装置



講義進行手順

- 試作検討(全4回)
 - 基本的な構成要素の説明
 - 最低限の機能をもつマシンの作成
- ヒアリング(全4回)
 - スタッフに進行状況を報告、問題点を協議
- ラボ(全5回)
 - メンバーが集まる機会

成果発表機会

- 第1回成果発表会(第1戦)
 - 12月15日(月)、第1課題
- 第2回成果発表会(第2戦)
 - 1月19日(月)、第2課題
- 最終報告会(ポスター発表)
 - 1月26日(月曜クラス)、1月29日(木曜クラス)
- 最終報告書
 - 2月18日 〆切

マシンの製作

部品リストは講義Webを参照

- 以下の材料を用いて自由に製作
 - ただし制約があるので注意
- A類(貸与・加工不可)、供与部品(加工可)
- B類(スタッフを通じて発注)
 - 税込み20000円以内
- C類(学生の自己負担でマシンに搭載)
 - 義務ではありません
 - 税込み20000円以内(要領収書)

役割分担

仲の良い班は強い

■ 班長

- 班の連絡代表、メンバー間連絡

■ プロジェクトマネージャ

- プロジェクトの進行, スケジューリングを管理

■ 会計担当

- 物品管理、金額管理

■ 記録担当

- 写真撮影、説明資料

2008年度の注意

■ B、C類の金額制限

- 「税込み」で計算することになりました

■ 作業時間が限られます

- 工房・104共に合計39時間しか開放されません
- 開放時間は13:20～16:30です

■ その他

- ピンポン球を他のものと混ぜないで
- 104PCに勝手にソフトを入れてはいけません

具体的な情報はWebで

- 講義Webを随時チェック

`http://www.cyb.mei.titech.ac.jp/
2008SS2/main.htm`

- 問い合わせ専用メール

`dkura3@gmail.com`